

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

2026～2027年度RI会長メッセージ

WEEKLY REPORT

SEPTEMBER.2.2026 第2197回

UEDA EAST 上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長／田守正彦 幹事／水出博史 会報委員長／柳澤 誠

例 会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会 場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F

TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

U R L：http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/

E-mail：uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

ボーイスカウト・ガールスカウト活動について

上田地域で活動しているボーイスカウト2団体、ガールスカウト2団体の各団の指導者にご来会いただき、支援金をお渡ししました。スカウトと言えば「キャンプ」だと思いますが、熱中症や熊対策などで会場選別に難儀するというお話もありました。会員維持、指導者育成などのご苦労はロータリークラブも同じだと感じました。



■ボーイスカウト上田第5団の現状



ボーイスカウト上田第5団

団委員長 出田 行徳様

貴クラブからの長年にわたる、上田市内のボーイスカウト、ガールスカウトへのご支援に御礼申し上げます。また、本日も、地元の青少年の健全育成に、それぞれの団体に助成金を賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、現在、ボーイスカウト並びにガールスカウトでは、会員の減少が最大の課題となっています。ボーイスカウト第5団は、9歳から18歳までの男女スカウトが13名、隊指導者、団運営に携わる成人が22名という少人数で運営しています。成人は全員ボランティアで活動しておりました。本日頂戴いたしました助成金は、テント等活動用具、活動費に有効に使用させていただきます。写真は、8月に実施した隊キャンプの様子です。火を囲み、それぞれの近況や、夢を語り合いました。また、8月には、第19回日本スカウトジャンボリーが、広島県神石高原町で開催され、上田第5団からも3名のスカウトが長野県派遣隊のメンバーとして、奉仕者として私と、



大学生1名が参加し、スカウト達は少人数では体験できない、班活動や、プログラムを楽しめたようです。右の写真はその時の野営地です。



さて話は変わりますが、日本全体の問題ではありますが、上田市の小学生児童数は、S57年の14,981人をピークとして最新データでは7,112人と半分以下になっていて、減少が止まっていません。ボーイスカウト上田第5団も100名以上在籍していた子ども達が、現在は13名となっていますが、もっとたくさん子ども達に、野外活動を通じた体験活動を提供しようとしています、子ども達の興味の多様化や指導者不足と高齢化が最大の課題となっています。現在、70歳を超えている私が指導者として子ども達の指導に奉仕せざるを得ない状況で団の存続について、危機的な状況となって、団と周辺団のご協力を得ながら、今後の対応を探っている状況です。

皆様にもこれからも一層のご支援を賜りたくお願い申し上げますとともに皆様の益々の発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

■今年度の活動について



ボーイスカウト上田第13団

団委員長 小川 實様

本年も青少年育成の活動助成金を賜りありがとうございます。

私たち上田第13団は、スカウト7名、指導者7名、団委員7名、計21名で活動しています。昨年は27名の構成でしたが6名の減員となりました。

原因はスカウトの年齢による卒業が考えられます。本当は毎年スカウトの入隊確保が必要と考えられます。来年は30名の加盟員数を目指して頑張っています。

8月4日(入場日)～10日(退場日)まで日本ボーイスカ

ウト連盟の主催で4年毎の日本ジャンボリーが広島県神石高原ディアガルデンで開催されました。今回19回目です（1回目は1956年軽井沢にて開催）。今年で76年になります。

5日には広島平和記念公園に全国より持ち寄った千羽鶴の折鶴を奉納し、6日は代表スカウトが平和記念式典に参列しました。

このジャンボリーでスカウト達はプログラムを通じ友情を深め、元気にたくましく活動したようです。私たち13団は参加者がおらず、残念でした。4年後（2030年）にはスカウト技能を身に付けさせ参加させたいです。

昨今は地震、台風、大雨と死者まで出る大きな災害が発生しています。スカウトのモットー「そなえよつねに」に心がけ生活して行きます。

本年もよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■今年度の活動について



ガールスカウト長野県第5団

団委員長 岩岡 智子様

ロータリークラブ様にはいつもガールスカウト活動へのご理解ご協力ご支援をいただき心より感謝申し上げます。この度も皆様の貴重な浄財を頂戴し、スカウトの活動のために大切にに使わせていただきます。

5団の今年度の登録状況はテンダー（年長）2人、ブラウニー（1年から3年）6人、ジュニア（4年から6年）3人、シニア（中学生）5人、レンジャー（高校生）1人でスカウト17名。成人24名の合計41名です。姉妹関係の入団とスカウトが誘って入団してくれた姉妹がいて昨年の登録よりいくらか数が増えました。三姉妹の一番下のお子さんが年長となった母親に、テンダーリーダーになってもらえたことでテンダー部門の登録ができました。

登録上は4名のリーダーがいますが、主になるリーダーのひとりの人に集会の企画、保護者への連絡、等々担ってもらう状況なもので、部門ごとに集会をするより毎回全部門で集まるようなことになっています。

5月のこどもまつりは、今年は都合のつく成人が居なくて不参加でした。月2回の集会もやっとできるかという感じで、とても団ではキャンプをしてもらえない状態です。

それでもガールスカウトらしいことを夏の思い出にと、デイキャンプをしました。年長部門でクッキングテントを立て、小さい子は自然物を探してクラフトにし、お昼は2つのパトロールに分かれて作り、シニア・レンジャー企画でファイヤーをしました。天候に恵まれ、別所の森林公園は市内よりいくらか涼しいところで、野外活動が出来てよかったです。資材点検と言って、テント

や食事作りのための炊工品のナンバーチェックがあるのですが、借りたものはよりきれいにして返すとか、帰るときは来た時よりもきれいにする。という何気ないことを体験しておかないと県とか他の地域でスカウトが困るし、社会に出たとききつと役に立つだろうとの思いで続けていることです。

昨年、東信地区でガールスカウトフェスティバル、ワールドシンキングディを行い、連盟キャンプをしたことと、今年度の4月にシニア・レンジャーラリーに参加することで、東信地区のシニア・レンジャーが結構友好を深める機会があり、また、声をかけてまとめてくれるリーダーがいてくれることもあり、スカウトたちが旅行の計画を立てています。旅費の足しになるようバザーとかイベントでみんなでアイディアを出し合い作った物を売るのだと、オンラインや対面で会議をしています。

団だけでなく地区や県や全国に仲間を作り、出会う人との交わりや経験から、視野が広がる活動が年長のガールスカウトの醍醐味と言えるので、今後の少女たちに期待です。

10月には群馬県で北関東地区スカウト集会があり中・高校生が参加します。来年は長野県が担当になるので、期待は膨らみますし、今年のボーイスカウトの広島でのジャンボリーにも長野県でスカウトとユース年代のリーダーが参加させてもらったそうです。

報告はこれから聞く機会があると思いますが、このように連盟を見ても大学生や社会人で20代のユース年代の若い人の活躍が見られるようになり、下の年代のスカウトがお姉さんリーダーの姿を見ることで、目標にもなるし長野県連盟の未来も明るいのかと思います。

しかし嘗ては38ヶ団あった長野県の団も今は成人のみの団も含め26ヶ団です。悩みは、後継者をいかにして繋げたらよいかということで、保護者からリーダーになってくれる人もいないし、団委員長の交代も過去には、一期2年任期の2期までと規約はあるものの今では、リーダー会もメールで相談・連絡を済ませてしまい、団委員会は三役とリーダー、担当保護者が集まり月1回の会議を開いていたのは10年くらい前の事で、今では機能しなくなっています。恥ずかしながらすべては自分の至らなさで反省するばかりです。

団の存続のためにはスカウトを集める活動も必要ですし、リーダーになる方を見つけて、声をかけていくことや丈夫で元気な方に団委員長の交代を進めていくことが今後の課題で、もう少し働いてまいります。

昨日は防災の日でしたが、日本や世界で起こる地球規模の災害に、ガールスカウトのモットーは「そなえよつねに」なのですが、何ができて何をすべきなのかと考えた日でもありました。

本日は誠にありがとうございました。

■R8年度活動について



ガールスカウト長野県第25団

団委員長 村瀬 知穂様

本年度も上田東ロータリークラブ例会にご招待いただき有り難うございます。また毎年、手厚いご支援をいただき誠にありがとうございます。ガールスカウト長野県25団の団委員長の村瀬です。リーダー4名体制で日々試行錯誤しながらスカウトのためになればと思い一緒に活動しています。スカウト数は減少傾向が続き、新規入団者がいない状況であります。スカウト数は小学3年生～高校2年生まで10名です。登録数としては保護者と成人会員が18名になり、合計35名となります。

今年度の25団の活動報告としては、毎年行っている赤坂上の線路近くの花壇を規模を縮小し、花の苗も例年の半分にし6月に植えました。現在も、今年の夏の暑さに負けずきれいな花が咲いています。10月に秋苗を植えるために一度花抜きを行い、11月に再度苗を植えます。

7月には全部門でのデイキャンプを城南公民館で行いました。クラフトでサコッシュに葉っぱを使用しペインティングし、個性ある作品ができました。スカウト達からのリクエストのスイカ割りも雨のため室内となりましたが、大盛り上がりでした。お昼にはピザを作り、一人

1枚ずつの大人でもお腹いっぱいになるくらい大きさのピザを作り、楽しいデイキャンプを過ごしました。

新しい取り組みとしてはサイバー・スマートバッジは全部門でバイナリーバッジは小学生部門で今年度取り組みます。サイバースmartバッジはネットリテラシーを取得するセキュリティ教育プログラム。バイナリーバッジはコンピューターの世界で用いられている「2進法」を理解するプログラムです。

中高生部門では団だけでの活動ではなく、東信地区で集会を昨年12月から行い、ZOOMや対面での活動をしています。2028年の3月に皆で旅行に行く計画を立て、それに向けて準備をしています。その一つとして自分達での資金集めの為にクラフト作成し販売を目指しています。もしマルシェ出店のような、子どもたちでも販売できる場があれば、ご案内いただけると嬉しいです。また高校生部門3名は、今年度群馬で開催される北関東スカウト集会にも参加します。来年度は県内開催の為、そのためにも多くの事を収穫し、来年度につなげて貰えればと思います。

ガールスカウトは少女たちが学校以外の場所で活躍できる場として、活動していきたいと思います。ロータリークラブの皆様には引き続きお力添えをいただきながら、意義ある活動を継続していきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

例 会 日 誌 9月2日(水) 晴れ 2026～2027 No.8

- 司 会 塩之入永子氏
- 斉 唱 「君が代」「それでこそロータリー」
- ゲ ス ト 出田行徳様(ボーイスカウト上田第5団団委員長)
小川 實様(ボーイスカウト上田第13団団委員長)
岩岡智子様(ガールスカウト長野県第5団団委員長)
村瀬知穂様(ガールスカウト長野県第25団団委員長)

- 9月慶祝 【周年祝い】
上原 達君 28年 柳澤 亨君 28年
松山賢太朗君 10年 神津 健君 4年
手塚多佳彦君 4年
【結婚記念日祝い】
佐藤友則君・史絵氏 9/9
【誕生日祝い】
宮下秀司君 9/1 小田中譲君 9/4
西森勇太君 9/5 平林知晃君 9/12



- ラッキー賞 手塚達也君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 柳澤 誠君(玉井君より音楽村近くのお店のハーブティセット)
玉井「音楽村近くの『花風里』というカフェのお土産です。」
飯島洋一君(増田さんより飯島商店のあんみつと手作りお菓子)
増田「マラーカオという蒸しパン、作ってみました。」



■会長挨拶

田守 正彦 会長



皆さん、こんにちは。

今日は、上田市の中学校の「部活動」が大きく変わろうとしていることについて、お話ししたいと思います。

私たちが中学生だった頃、放課後になれば野球、バスケ、バレー、卓球、柔道、剣道、吹奏楽など、それぞれの部活動に向かったものです。顧問は学校の先生で、先輩が後輩を教える。「中学生になったら何部に入ろうか」と考えるのも、学校生活の楽しみの一つでした。ところが今、その当たり前だっ

た仕組みが変わろうとしています。

上田市では、学校だけで部活動を支えるのではなく、地域全体で中学生のスポーツや文化活動を支える上田地域クラブから【うえJOY】と名称変更されての地域展開が進められています。

上田市立中学校の生徒数は、2025年度の約3,800人から、2034年度には約3,000人まで減少すると推計されています。すでに生徒数が減り、一つの学校だけではチームを組めない、やりたい部活動が学校にない、といったことも起きてきます。そこで「学校にしなければできない」のではなく、学校の枠を越えて、地域の中から自分のやりたい活動を選ぶようにしようというのが【うえJOY】の考え方です。

【うえJOY】は上田市教育委員会が全体をまとめていますが、実際の活動は地域のスポーツ団体や文化団体など、さまざまな地域クラブが担います。8月末の認定クラブの資料を見ますと、65団体、野球、サッカー、バスケットボール、卓球、柔道などの従来の部活動だけでなく、合気道、弓道、居合道、少林寺拳法、社交ダンス、さらには、いけばな、和太鼓、着物の着付けやプラモを作るといった活動まであります。また、日本舞踊、邦楽、茶道、能、アートや自然体験など、学校の部活動という枠ではなかなか経験できなかった分野にも選択肢が広がっています。

そして活動場所も、一つの学校だけではありません。学校の体育館やグラウンドをはじめ、市の体育施設、公民館、地域の施設など、**上田市全体が子どもたちの活動場所になっていく**ということです。

考えてみますと、これは単なる「部活動の移行」ではないのかもしれませんが。「部活動の地域移行」というと、学校教育の問題のように聞こえますが、これからは「**地域の子どもを、地域みんなで育てる**」。これまで学校と先生が担ってきたものを地域へ移すということ、**地域の大人にも新しい役割が生まれる**ということだと思います。

今日のゲストの、ボーイスカウト・ガールスカウトの方々は長年その活動を率先されてきています。スポーツが得意な人、音楽が得意な人、仕事で身につけた技術を持っている人。それぞれの経験が、子どもたちの新しい学びにつながる可能性があります。しかしながら、誰が指導するのか。活動場所をどう確保するのか。会費や送迎をどうするのか。そして家庭の事情によって、参加できる子とできない子が生まれないようにするにはどうするのか。私たち地域の大人に何が出来るのか。ロータリーアンとして新しく奉仕の方向も考えることも必要になってきます。

【うえJOY】をきっかけに、そんなことも少し考えてみる機会も持てればと思います。

本日もよろしくお願いいたします。

■幹事報告

水出 博史 幹事

・地区より会長エレクト、次期幹事研修のご案内が届く。

10月3日(土) 13:00~16:00

長野市生涯学習センター

・日本ユネスコ協会連盟より2025年度活動レポートと支援依頼が届く。

・上田RCよりクラブ計画書をいただく。

■Rの友9月号の記事紹介 R情報委員長 柳澤 誠君

ロータリーの友誌9月号に当クラブの記事が掲載されました。28ページです。これは渡辺年度に友誌でクラブソングについての原稿募集があり応募したものです。写真には懐かしい顔も。サマーナイトでみんなで歌っている様子です。ご覧ください。



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	47	22	—	53.19%
前々回	52	47	14	7	85.11%

ニコニコBOX

(敬称略)

BS上田第5団団委員長 出田行徳様、上原、工藤、久保倉島、後藤、小林、春原、滝澤(修)、竹内、田守、塚田中嶋、橋詰(洋)、水出、宮下(博)、柳澤亨、山寺、渡辺
※出田行徳様／本日は、ボーイスカウトでお世話になります。

※水出博史君／ボーイ・ガールスカウトの皆様ようこそ。

※竹内 強君／ボーイ&ガールの皆様、ご苦勞様です！

※後藤正直君／ニュースでは、今年は松茸10年に一度の豊作とか！！期待しましょう。

※上原 達君／周年祝いをいただきました。祝28周年。

※渡辺敏成君／いろいろな所で豪雨となっています。千曲川が無事でありますように。車が水没すると困ります。

本日の金額／25,000円 累計／300,000円

●クラブ親睦ゴルフコンペ開催 (9月6日・日)

サニークントリークラブで親睦コンペが行われました。参加者は14名。心配された雨も何とかプレー中は降らず気温も低め、元気に楽しくプレーできました。F会員の北村さん、西入さんも相変わらずパワフルでした。終了後「Maーのかまど」で表彰式を行いました。

優 勝 久保友幸君
準優勝 水出博史君
第3位 渡辺敏成君



[次週のプログラム]

9月16日(水) 桑原ガバナー補佐事前訪問 23日(水) 休会